

九九九會小記

泉鏡太郎

青空文庫

會くわいの名なは——會費くわいひが九圓きうゑん九十九錢きうじふきうせんなるに起因きいんする。震しんざ
 災いざ後ご、多年たねん中ちゆう絶ぜつして居ゐたのが、頃このごろ日區劃整理くくわくせいりに及およばず、
 工こう事じなしに復興ふくこうした。時ときに繰返くりかへすやうだけれども、十圓じふゑんに
 對たいし剩錢つりせん一錢いつせんなるが故ゆゑに、九圓きうゑん九十九錢きうじふきうせんは分わかつたが、ま
 た何なんだつて、員數ゐんすうを細こまく刻きざんだのであらう。……ついで此この間あひだ、
 淳とんさんに逢あつて、其その話はなしが出でると、十圓じふゑんと怯おどかすより九九九
 とい言はふ方ほうが、音メ《ねじめ》……は粹過いきすぎる……耳觸みづさはりが柔やはらか
 で安易あんいで可よい。それも一ひとつだが、其その當時たうじは、今いまも大錢たいせんお扱あつかひ
 の方かたはよく御存ごぞんじ、諸國しよこく小貨こまかいのが以もつてのほか拂底ふつていで、買かひも
 のに難澁なんじふ一方ひとかたならず。やがて、勿體もつたいないが、俗ぞくに言いふ上あげし

潮から引上げたやうな十錢紙幣が墓口に濕々として、金の威光より、黴の臭を放つた折から、當番の幹事は決して剩錢を提出さず、會員は各自九九九の粒を揃へて、屹度持參の事、と言ふ……蓋し發會第一番の——お當めでたうござる——幹事の亭さんが……實は剩錢を集める藁人形に鎧を着せた智謀計數によつたのださうである。

「はい、會費。」

佐賀錦の紙入から、其の、ざくくと銅貨まじりを扱つた、岡田夫人八千代さんの紙包みの、こなしのきれいさを今でも覚えて居る。

時に復興の第一回の幹事は——お當めでたうござる——

みなかみ
 水上さんで。唯見る、日本橋檜物町藤村の二十七疊の
 おほひろま 黒檀の大卓のまはりに、浅葱紹の座蒲團を涼しく
 大廣間、配らせて、一人第一番に莊重に控へて居る。其の席に配つ
 くば
 た、座蒲團一つ一つの卓の上に、古色や、蒼然たらむと欲す
 る一錢銅貨がコツンと一個。座にひらきを置いて、又コツン
 と一個、會員の數だけ載せてある。煙草盆に香の薫のみし
 て、座にいまだ人影なき時、瀧君の此の光景は、眞田が
 ろくもんせん 六文錢の伏勢の如く、諸葛亮の八門遁甲の備に似て
 居る。また此の計なかるべからず、此で唯初音の鳥を煮て、お香
 うく
 々で茶漬るのならば事は足りよう。座に白粉の薫をほんのり
 さして、紹縮緬の秋草を眺めよう。無地お納戸で螢を見よう。

しかのみならず、酒は近所の灘屋か、銀座の顛巻を取寄せて、と云ふ會員一同の強請。考へてご覧なさい、九九九で間に合ひますか。

一同幹事の苦心を察して、其の一錢を頂いた。

何處かで會が打つかつて、微醉機嫌で來た万ちゃんは、怪しからん、軍令を忘却して、

「何です、此の一錢は——あゝ、然うく。」
 と兩方の肩と兩袖と一所に一寸揺つて、内懐の紙入から十圓也、やつぱり一錢を頂いた。

其處でお料理が、もづくつと、冷豆腐、これは飲める。杯次第にめぐりつゝ、いや、これは淡泊して好い。酒いよく酣に、

いや、まことに見ても涼しい。が、折から、ざあ／＼降り、降りに風が吹添つて、次の間の金屏風も青味を帯びて、少々涼しく成り過ぎた。

「如何です、岡田さん。」

「結構ですな。」

と、もづくを吸ひ、豆腐を挟む容子が、顔の色も澄みに澄んで、風采ます／＼哲人に似た三郎助畫伯が、

「此の金將は一手上り過ぎましたよ。」

と、將棋に、またしても、お負けに成るのが、あら／＼、おいたはしい、と若い綺麗どころが、畫伯と云ふと又頻に氣を揉む。

「軍もお腹がお空きになつては、ねえ。」

一番負かした水上さんが、故と、その上に目を大きくして、

「九圓九十九錢だよ。」

で仔細を聞いて、妙に弱い方へ味方する、江戸ツ子の連中が、
 私も會費を出すよ、私だつて。——富の字と云ふ稱からして工
 面のいゝ長唄の姉さんが、煙管を懐劍に構へて、かみ入を
 帯から抜くと、十圓紙幣が折疊んで入つて居る……偉い。戀
 か、三十日かに瘦せたのは、また白銅を合せて、銀貨入に八
 十五錢と云ふのもある……嬉しい。寸の志と、藤間の名取で、
 嬌態をして、水上さんの袂に入れるのがある。……甘い。それ
 もよし、これもよし、メ《しめ》て金七十圓——もしそれ私を

して幹事かんじたらしめば、忽ちたちまにお盆ぼんの軍用ぐんように充てあようものを、軍
 規些んきいさゝか少も敵てきにかすめざる瀧君たきくんなれば、志こゝろざしはうけた——或は新あるひし
 築ちくの祝いはひあるひをどひとて、或は踊一手しうぎあるひびやうきみまひの祝儀、或は病氣見舞びやうきみまひとして、其その金子きんす
 は、もとの帶おびへ返かへつた。軍機ぐんきをもらす恐れおそはあるが、まぶと成なつ
 て、客きやくの臺だいのものを私わたくしせず、いろと成なつて、旦那だんなの會くわいけい計けいを煩わづら
 はさない事ことを、彼あの妓等こたちのために、其その旦那だんななるものに、諒りやうか
 解いを要求えうきうする。これ第一だいいちは瀧君たきくんのために、説とくこと、こゝ
 に及およぶ所以ゆゑんである。

さるほどに、美人びじんたちの此この寄附きふによつて、づらりと暖あつたかいもの
 が並ならんで、金屏風きんびやうびもキラ／＼と輝かゞやき渡わたり、焼やきのりをたて引ひいて心し
 配んぱいして居あた、藤村ふぢむらの優やさしい妹いもとぶん分ぶんも、嬉うれしさうな顔かほをした。

此の次會をうけた——當の幹事が淳さんであつた。ろくぐわつげ
 下旬。午後五時。

時間勵行。水上さんは丸の内の會社からすぐに出向く。

もとそのちやう元園町の雪岱さんは出さきから參會と。……其處で、

道順だから、やすい圓タクでお誘ひ申さうかと、もし、もし、

電話（註。お隣のを借りる）を掛けると六丁目里見氏宅で、は

あ、とうけて、婀娜な返事が——幹事で支度がありますから、時

間を早く、一足お先へ——と言ふのであつた。

其の夕刻は、六文錢も、八門遁甲も何にもない。座に、

煙草盆を控へて、私が先づ一人、斜に琵琶棚を見込んで、ほか

んと控へた。青疊徒らに廣くして、大卓は、浮島の體で

ある。

一あし先の幹事が見えない。やがて、二十分ばかりにして、

當の幹事、飛車を抜かれたやうな顔をして、

「いや、遅參で、何とも……」

水上さんと二人一所。タクシイが日比谷の所でパンクした。

しかも時が長かつたさうである。

處で、蔭さんは、伏勢のかはりに、常山の蛇、尾を撃て

ば頭を以て、で、所謂長蛇の陣を張つた。即ち、一錢銅

貨五十餘枚を、ざらりと一側ならびに、細い、青い、小さい

蝦蟇口を用意して、小口から、「さあ、さあ、お剩錢を。」

これは、以來、九九九會の常備共通の具と成つて、次會

の當番、雪岱氏が預つた。

後で聞くと、葎さんの苦心は、大根おろし。まだ御馳走もな
い前に、敢て胃の消化を助けるためではない。諸君聞かずや、
むかし彌次郎と喜多八が、さもしい旅に、今くひし蕎麥は富士ほ
ど山盛にすこし心も浮島がはら。其の山もりに大根おろし。
おかゝは、うんと藤村家に驕らせて、此の安直なことは、
もづくの比ではない。然り而して、おのくの腹の冷く次第に寒
く成つた處へ、ぶつ切、大掴の坊主しやも、相撲が食つても
腹がくちく成るのを、赫と煮ようと云ふ腹案。六丁目を乗出
した其の自動車で、自分兩國を乗切らう意氣込、が、思ひ

がけないパンクで、時ときも過すぎれば、氣きが抜ぬけたのださうである。
 此この帷ゐあく幄さんに參さんして、蝶てふがひまきゑ貝さん時さん繪さんの中なか指さし、艷つや々やくしい圓まるまげ鬚げを
 さし寄よせて囁ささいた計はかりごとによれば——此このほかなに尚なほ、酒さけの肴さかなは、箸はし
 のさきで、ちびりと醬しやう油ゆ（鰹かつをぶし節せつを添そへてもいゝ、料れう亭てい持も
ちだ出し）をなめさせ、鉢はち肴さかなまた洗あらと稱あらへ、縁えん日にちの金きん魚ぎぎんぶを并り
 に浮うかせて——（氷こほりを添そへてもいゝ）——後のちにひきものに持もたせ
かへて歸かへす、殆ほとんど籠ろうじやう城じやうに馬うまを洗あらふ傳でん説せつの如ごとき、凄すごい寸すん法ぽふがあ
そくぶんると仄そく聞ぶんした。——しかし、一いち自じ動どう車しやの手て負おひ如ごときは、もの
かず數かずでもない、戰たへば勝かつ驕けう將しやうは、此この張ちやう中ちゆうの説せつを容いれな
 かつた。勇ゆうなり、また賢けんなるかな。

第三回だいさんくわいの幹かん事じは、元もと園そのちやう町ちやう——小こ村むら雪せつ岱たいさん——受これ

之^う_く
。

昭和三年八月

青空文庫情報

底本：「鏡花全集 卷二十七」岩波書店

1942（昭和17）年10月20日第1刷発行

1988（昭和63）年11月2日第3刷発行

初出：「三田文学 第三卷第八号」三田文学会

1928（昭和3）年8月1日

※表題は底本では、「九九九会《くうくうくわい》小記《せうき》」となっています。

※題名の下にあった年代の注を、最後に移しました。

入力：門田裕志

校正：岡村和彦

2017年10月25日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

九九九會小記

泉鏡太郎

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>